

株式会社ウンノハウスに対するサステナビリティ・リンク・ローンの実行について ～山形県のお取引先様に対する当行第1号案件！～

株式会社七十七銀行（頭取 小林 英文）は、株式会社ウンノハウス（本社：山形県山形市、代表取締役 工藤 和夫）に対し、サステナビリティ・リンク・ローンを実行いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

なお、当行が山形県に本社を置くお取引先様に対してサステナビリティ・リンク・ローンを実行するのは本件がはじめてとなります。

当行では、今後とも、お取引先企業の多様な資金調達ニーズに積極的に対応し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

記

1. 案件概要

借入人	株式会社ウンノハウス
実行日	2023年8月31日
融資金額	1億円
資金使途	運転資金
SPT s ^{※1}	HEAT 20 G2グレード ^{※2} 住宅の年間新築引渡棟数について2028年に55棟まで伸ばすよう段階的に増加させる。

※1. サステナビリティ・パフォーマンスターゲットの略称。

※2. 「一般社団法人20年先を見据えた日本の高断熱住宅研究会」（略称名：HEAT20）が定めるZEH基準を上回る断熱性能。2022年10月から上位等級として新設された断熱等級6に相当し、現行省エネ基準と比較して暖冷房期にかかる一次エネルギー消費量を約30%削減できるとされており、高いCO₂排出削減効果が期待できる。

2. 当社について

当社は山形県山形市に本社を置き、山形・宮城・福島の3県で住宅を供給する1959年創業の建設業者です。当社では以前から環境問題、特に温暖化問題について高い関心を持って企業経営に取り組んでおり、中でも住宅の断熱性能向上によるエネルギー消費量削減については常に高い水準での取組を行っています。お客様への健康・快適な住宅の提供と温暖化対策を両立させることで、事業活動を通じて東北地方の発展と持続可能な社会の実現に貢献しています。

3. サステナビリティ・リンク・ローン（以下「SLL」といいます。）について

借り手のCSR戦略と連携したSPT sを設定し、金利などの貸付条件をSPT sに対する借り手のパフォーマンスと連動させ、SPT s達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指すものです。

なお、本件SLL契約にあたっては、フレームワークを適用したSLL原則への適合、および設定したSPT sの合理性について、株式会社格付投資情報センターより第三者意見を取得しており、上記SPT sについては、野心度および有意義性等の観点からSLL原則に適合していると評価されております。

(参考)

株式会社ウンノハウスHP

<https://unnohouse.co.jp/>



「セカンドオピニオン」の詳細につきましては、株式会社格付投資情報センター（R&I）ホームページをご参照下さい。

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/sustainabilityfinance/index.html>

(関連するSDGs)



SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年9月に、国連に加盟する全ての国が全会一致で採択した国際目標であり、17のゴールと、169のターゲットから構成されています。

七十七グループは2020年7月に「七十七グループのSDGs宣言 ～もっと、ずっと、地域と共に。～」を表明し、SDGsに対する取組みを更に強化するため、2021年10月より「SDGs実践計画」を策定しております。